

2011 年度日本気象学会東北支部第 1 回理事会 議事録

日時：2011 年 5 月 11 日（水） 16 時 05 分～17 時 40 分

場所：仙台管区気象台会議室（4 階）

出席：藤村、青木、足立、岩崎、小川、境田、長谷川、森田、児玉、日野、松原（以上理事）、阿部（会計監査）、山崎、安田、金濱、正木（以上幹事）（敬称略）

欠席：無し

司会：足立

議題 1. 理事・幹事の補充

議案を承認。尚、全国理事について本来は理事（慣例により仙台管区気象台技術部長）を推薦していたが、今年度は、地震の影響で人事が変則的となった関係で、藤村支部長（仙台管区気象台長）を推薦した。

議題 2. 事業等の担当理事の選任

議案を承認。

議題 3. 2010 年度会計報告

（支部一般会計）事務局からの補足説明

- ・支部気象研究会で、決算額が予算額を大幅に上回ったのは、これまで講演要旨を気象台のプリンタで印刷していたのを、業者での印刷に切り替えたため。今後も印刷業者に依頼する方向で進めたい。
- ・サイエンスカフェは支部独自活動として本部より 30,000 円支給されるが、不足分を一般会計から補充。
- ・ホームページ運営費 15,000 円は運営をお願いしている東北大学生へのバイト料金。
- ・次期繰越収支差額が大きくなっているのは、地震で理事会の開催を中止したため。

（支部独自活動会計）事務局からの補足説明

- ・資料印刷費 0 円は、プレゼンだけにして机上配布をしなかったのと、ポスターについては科学館が協力してくれたため。
- ・役務費・交通費は学生のバイト代やスタッフの交通費。

理事から繰越金と交付金について質問があった。繰越金は本部に報告し、翌年度の支部活動費に繰り込むことで了承を得ている。交付金は会員数に基づいた金額が交付される。

議題 4. 2010 年度会計監査報告

議案を承認。

議題5. 2011年度事業計画及び予算

(1) 事業計画

1) 支部気象講演会

2011年度支部気象講演会について、開催担当である盛岡地方気象台の日野理事より要旨次の発言がなされた。

「震災で環境が大きく変わった今、果たして岩手県で開催して良いものだろうか。実施するとなると農業関係が落ち着く11月くらいを考えており、会場や講師は未定だが、下調べはしている。盛岡地方気象台では、ここ5年ほど県、NPOと連携し地球温暖化問題の啓発活動を実施しているので、抱き合わせでの開催も検討している。また、岩手だとヤマセに関心が高いので、この間実施されたヤマセ研究会の成果を還元するものにできないかとも考えていた。」

これに対して複数の理事から、今年度も気象講演会を支部として開催すべきであり、開催地については岩手県でよいのではないかとの意見が出された。いくつかのやりとりの中で岩手県での開催に反対する意見はなく、2011年度は岩手県で秋以降に開催することを理事会として確認した。開催地と内容について、以下のような意見が出された。

- ・沿岸部での開催も検討してはどうか。
- ・被災地は会場の手配が難しい。
- ・震災が起きた今ならではの内容にしてはどうか。
- ・当初どおりヤマセ、地球温暖化についての内容でいいのではないか。
- ・津波で水田がだめになっている今、採れるところで採るという観点から地球温暖化問題も震災とそう離れた問題ではない。
- ・(津波についての講演の実施について)津波は気象学会の講演会として少し毛色が違うのでは。→こまかい所はこだわらなくてもよいと思う。防災に関する内容を気象台から講演してもよいのではないか。
- ・津波をいれるとそれを目当てに来る人も多く、本来の目的がかすむかもしれないので、無理に入れる必要はないのではないか。
- ・昨年のように気象台で実施している気候講演会と一緒にするかどうか。

2) 東北支部気象研究会

例年11月くらいに仙台管区気象台の調査研究会に併せて開催の2日目の午後に開催予定。仙台管区気象台 技術部 気候・調査課と調整が必要。

3) 東北支部だより

前任の渡邊先生がやっていたような連載記事みたいなのがあったと良いと考えている。今後準備を進めたい。

4) 支部理事会

議案の通り。

5) 支部独自活動

サイエンスカフェを秋頃に仙台市で開催する予定。去年は仙台市科学館で実施。場所も含めこれか

ら関係者で打合せ等を行い詰めていく予定。岩崎理事から、「現在抱えているプロジェクトについて、事業仕分後、一般講演会をするよう言われているので、サイエンスカフェと抱き合わせでできないか」との提案もあり。プロジェクトの中身を説明するのではなく、関連する項目について講演することで、サイエンスカフェに相応しい内容にできる。

また、小川理事からも「予報士会で講演会を予定しており共催が可能」、との提案があった。

6) 日本気象学会奨励賞などへの推薦

議案の通り。

(2) 2011 年度予算

議案の通り。

議題6. その他

(1) 全国理事会報告

岩崎理事より配布資料に沿って説明があった。

(2) 支部幹事の指名（支部細則第13条による）

議案の通り指名、承認された。

(3) 2013 年度秋季大会について

2013 年度秋季大会は仙台開催ということで、準備を始める。会場の予約は1年半前くらいにはしておく必要がある。前回は会場を国際センターに移した。経費はかかるが運営上の利点が多く、今回も国際センターを第一候補に検討する。実行委員会を立ち上げて打合せをすることとなった。気象台の実行委員は、足立、金濱、正木の3名。

(4) 事務局から

議案のとおり

2011年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議案

日時：2011年5月11日（水）16時00分～17時30分

場所：仙台管区気象台4階会議室

開会の挨拶

出席者紹介

議 題

- | | |
|--------------------|------|
| 1. 新理事の補充 | 2ページ |
| 2. 事業等の担当理事の選任 | 2ページ |
| 3. 2010年度会計報告 | 3ページ |
| 4. 2010年度会計監査報告 | 4ページ |
| 5. 2011年度事業計画及び予算案 | 5ページ |
| (1) 事業計画 | 5ページ |
| 1) 支部気象講演会 | 5ページ |
| 2) 支部気象研究会 | 5ページ |
| 3) 東北支部だより | 5ページ |
| 4) 支部理事会 | 5ページ |
| 5) 支部独自活動 | 5ページ |
| 6) 日本気象学会奨励賞などへの推薦 | 5ページ |
| (2) 2011年度予算案 | 6ページ |
| 6. その他 | 7ページ |
| (1) 全国理事会報告 | 7ページ |
| (2) 支部幹事の指名 | 7ページ |
| (3) その他 | 7ページ |
| (4) 事務局から | 7ページ |

資 料

- | | |
|----------------------|-------|
| 2011年度支部独自活動計画(提出資料) | 8ページ |
| 役員名簿案(第27期2011年度) | 9ページ |
| 東北支部規則 | 10ページ |
| 東北支部細則 | 11ページ |

1. 理事・幹事の補充

「支部規則」第9条、「支部細則」12項の規定に基づき、新理事を補充する。
事務局(案)は次のとおりです。

*事務局(案)

| | | |
|-------|--------|---------------------|
| 常任理事 | 足立 勇士 | 仙台管区気象台技術部予報課主任予報官 |
| | 長谷川 洋平 | 仙台管区気象台技術部長 |
| 地方理事 | 児玉 安正 | 弘前大学大学院准教授(理工学研究科) |
| | 松原 和正 | 山形地方気象台長 |
| 事務局幹事 | 金濱 晋 | 仙台管区気象台技術部予報課調査係長 |
| | 正木 孝志 | 仙台管区気象台技術部気候・調査課調査係 |

※ 日本気象学会東北支部第27期役員名簿は、9ページのとおりです。

・全国理事の交代

橋本理事の後任として、藤村支部長を推薦している。

2. 事業等の担当理事の選任

事務局(案)は次のとおりです。

*事務局(案)

| | |
|--|----------------------------|
| ①支部気象講演会 (2011年度岩手開催) (2012年度山形開催) | 境田常任理事 日野地方理事 松原地方理事 |
| ②支部気象研究会 | 足立常任理事 |
| ③東北支部だより | 児玉地方理事 |
| ④支部独自活動 | 青木常任理事 |
| ⑤支部事務局 | 足立常任理事 |
| ⑥会計監査 | 阿部会計監査 |

3. 2010年度会計報告

〔支部一般会計〕（2010年4月1日～2011年3月31日）

| | 予算額 | 決算額 | 差異 |
|-----------------------|----------|----------|----------|
| I 収入の部 | | | |
| 事業活動収入 | | | |
| 本部交付金 | 598,400円 | 598,400円 | 0円 |
| 事業収入（広告料等） | 0円 | 0円 | 0円 |
| 雑収入 | | | |
| 預金利息 | 140円 | 52円 | △88円 |
| 事業活動収入計(1) | 598,540円 | 598,452円 | △88円 |
| II 支出の部 | | | |
| 事業活動支出 | | | |
| 事業費支出 | | | |
| 支部だより | 220,000円 | 198,930円 | 21,070円 |
| 支部気象講演会 | 285,000円 | 226,318円 | 58,682円 |
| 支部気象研究会 | 5,000円 | 30,380円 | △25,380円 |
| 気象サイエンスカフェ | 0円 | *1,358円 | △1,358円 |
| ホームページ運営費 | 15,000円 | 15,000円 | 0円 |
| 管理費支出 | | | |
| 支部理事会 | 85,000円 | 39,940円 | 45,060円 |
| 支部役員選挙 | 30,000円 | 18,966円 | 11,034円 |
| 事務費 | 5,000円 | 12,471円 | △7,471円 |
| 事業活動支出計(2) | 645,000円 | 543,363円 | 101,637円 |
| III 予備費支出 | | | |
| 予備費支出 | 35,104円 | 0円 | 35,104円 |
| 予備費支出計(3) | 35,104円 | 0円 | 35,104円 |
| | | | |
| 当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3) | △81,564円 | 55,089円 | 136,653円 |
| 前期繰越収支差額(B) | 81,564円 | 81,564円 | 0円 |
| 次期繰越収支差額(A)+(B) | 0円 | 136,653円 | 136,653円 |

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1 気象サイエンスカフェ不足分を一般会計から支出。

〔支部独自活動会計〕

| | 予算額 | 決算額 | 差異 |
|-----------------------|----------|-------------|-----------|
| I 収入の部 | | | |
| 事業活動収入 | | | |
| 本部交付金 | 30,000 円 | 30,000 円 | 0 円 |
| 事業収入（広告料等） | 0 円 | 0 円 | 0 円 |
| 雑収入 | 0 円 | 0 円 | 0 円 |
| 事業活動収入計(1) | 30,000 円 | 30,000 円 | 0 円 |
| II 支出の部 | | | |
| 事業活動支出 | | | |
| 事業費支出 | | | |
| 資料印刷費 | 8,000 円 | 0 円 | 8,000 円 |
| 講師謝金 | 15,000 円 | 0 円 | 15,000 円 |
| 事務費 | 7,000 円 | 5,358 円 | 1,642 円 |
| 役務費・交通費 | 0 円 | 26,000 円 | △26,000 円 |
| 管理費支出 | 0 円 | 0 円 | 0 円 |
| 事業活動支出計(2) | 30,000 円 | 31,358 円 | △1,358 円 |
| III 予備費支出 | 0 円 | 0 円 | 0 円 |
| 予備費支出計(3) | 0 円 | 0 円 | 0 円 |
| | | | |
| 当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3) | 0 円 | *1 △1,358 円 | △1,358 円 |

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1 不足額は、支部一般会計から補填

4. 2010年度会計監査報告

預金通帳、現金、領収書を照合の結果、誤りがないことを認めます。

2011年3月31日

日本気象学会東北支部会計監査

阿部 仁 

5. 2011年度事業計画及び予算

(1) 事業計画

1) 東北支部気象講演会

2005年度以降の開催状況

| 年度 | 開催地 | 講演者 | | |
|--------|-----|------|-------|--|
| 2005年度 | 盛岡市 | 矢内桂三 | 古川洋一 | |
| 2006年度 | 山形市 | 中澤高清 | 佐藤 威 | |
| 2007年度 | 青森市 | 板谷宏之 | 児玉安正 | |
| 2008年度 | 福島市 | 渡邊 明 | 大久保忠之 | |
| 2009年度 | 大崎市 | 境田清隆 | 大場淳司 | |
| 2010年度 | 秋田市 | 佐藤 威 | 栗田邦明 | |

2011年度は岩手県で開催予定です。

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

2012年度は山形県で開催。今後(2011年秋以降)準備を進めていくこととします。

(担当理事は境田理事及び、松原地方理事)

2) 東北支部気象研究会

仙台管区気象台の調査研究会に合わせて共催で開催予定。

開催日については、仙台管区気象台気候・調査課と検討中

3) 東北支部だより

年3回発行(第70号、71号、72号)の予定。

4) 支部理事会

第1回 2011年 5月11日

第2回 2012年 3月予定

5) 支部独自活動

サイエンスカフェを秋頃に仙台市で開催する。今後、準備を進めていく

6) 日本気象学会奨励賞などへの推薦

理事会と事務局で検討し、選考していく

(2) 2011年度予算案

〔支部一般会計〕

| | 2011 年度予算額 | 2010 年度予算額 | 増 減 |
|-----------------------|-------------|------------|-----------|
| I 収入の部 | | | |
| 事業活動収入 | | | |
| 本部交付金 | *1592,400 円 | 598,400 円 | △6,000 円 |
| 事業収入（広告料等） | 0 円 | 0 円 | 0 円 |
| 雑収入 | | | |
| 預金利息 | 50 円 | 140 円 | △90 円 |
| 事業活動収入計(1) | 592,450 円 | 598,540 円 | △6,090 円 |
| II 支出の部 | | | |
| 事業活動支出 | | | |
| 事業費支出 | | | |
| 支部だより | 220,000 円 | 220,000 円 | 0 円 |
| 支部気象講演会 | 290,000 円 | 285,000 円 | 5,000 円 |
| 支部気象研究会 | 35,000 円 | 5,000 円 | 30,000 円 |
| ホームページ運営費 | 15,000 円 | 15,000 円 | 0 円 |
| 管理費支出 | | | |
| 支部理事会 | 95,000 円 | 85,000 円 | 10,000 円 |
| 支部役員選挙 | 20,000 円 | 30,000 円 | △10,000 円 |
| 事務費 | 10,000 円 | 5,000 円 | 5,000 円 |
| 事業活動支出計(2) | 685,000 円 | 645,000 円 | 40,000 円 |
| III 予備費支出 | | | |
| 予備費支出 | 44,103 円 | 35,104 円 | 8,999 円 |
| 予備費支出計(3) | 44,103 円 | 35,104 円 | 8,999 円 |
| | | | |
| 当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3) | △136,653 円 | △81,564 円 | △55,089 円 |
| 前期繰越収支差額(B) | 136,653 円 | 81,564 円 | 55,089 円 |
| 次期繰越収支差額(A)+(B) | 0 円 | 0 円 | 0 円 |

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1本部交付金は、4月21日に入金済(=支部会員202名×1,200円+35万円)

6. その他

(1) 全国理事会報告

(2) 支部幹事の指名（支部規則第13条による）

山崎氏、金濱氏、正木氏の3名を指名する

(3) その他

・2013年度秋季大会について

(4) 事務局から

①「天気」東北地区編集委員について

山崎 剛氏（東北大学）と大矢正克常任理事が、地区編集委員になっている
（大矢氏の後任は、足立 勇士氏）

②東北支部会員数（個人会員）

2011年4月現在

| 県名 | 会員数 | 2010.08 |
|-----|------|---------|
| 青森県 | 27名 | 31名 |
| 岩手県 | 20名 | 21名 |
| 秋田県 | 13名 | 13名 |
| 山形県 | 20名 | 20名 |
| 宮城県 | 94名 | 94名 |
| 福島県 | 29名 | 29名 |
| 合計 | 203名 | 208名 |

（2010年8月の時点では208名なので5名減）

③旅費等について

交通費については

盛岡は 13,000円〔6290円×2+200円×2〕

弘前は 21,900円〔10910円×2〕

山形は 2,700円〔1110円×2+230円×2〕

仙台、岩沼は 1,000円をお願いします

※端数は切り上げています。

[別紙]

東北支部(1/1)

2011年度支部独自活動計画

1 事業名

気象サイエンスカフェ開催

2 概要

(1) 事業の意義、必要性、事業内容の概略

一般の方が興味をもつような気象のトピックスを取り上げ、専門家にわかりやすく解説していただき、また、十分な時間を確保して、議論することで理解を深めていただく。

気象知識の一般への普及の面では効果的と思われる。

(2) 実施の時期及び場所(未定でも可)

2011年(開催月は未定)

仙台市

(3) 事業の対象者

一般市民、会員、気象予報士、気象台職員など

3 経費の概算

| | |
|----|--------------|
| 合計 | 30,000円 |
| 内訳 | 資料印刷費 8,000円 |
| | 講師謝金 15,000円 |
| | 事務費 7,000円 |

4 連絡先及び担当者

宮城県仙台市宮城野区五輪1-3-15 仙台管区気象台内

安田 宏明 (Tel: 022-297-8137)

東北支部長 藤村 弘志



日本気象学会東北支部第 27 期 2011 年度役員名簿（案）

平成 23 年 5 月 11 日現在

| | | |
|------|--------|---------------------|
| 支部長 | 藤村 弘志 | 仙台管区気象台長 |
| 常任理事 | 青木 周司 | 東北大学大学院教授（理学研究科） |
| | 足立 勇士 | 仙台管区気象台技術部予報課主任予報官 |
| | 岩崎 俊樹 | 東北大学大学院教授（理学研究科） |
| | 小川 栄造 | 日本気象予報士会東北支部長 |
| | 境田 清隆 | 東北大学大学院教授（環境科学研究科） |
| | 長谷川 洋平 | 仙台管区気象台技術部長 |
| | 森田 務 | 日本気象協会東北支局長 |
| 地方理事 | 児玉 安正 | 弘前大学大学院准教授（理工学研究科） |
| | 日野 修 | 盛岡地方気象台長 |
| | 松原 和正 | 山形地方気象台長 |
| 会計監査 | 阿部 仁 | 仙台管区気象台技術部次長 |
| 幹事 | 山崎 剛 | 東北大学大学院准教授（理学研究科） |
| | 金濱 晋 | 仙台管区気象台技術部予報課調査係長 |
| | 正木 孝志 | 仙台管区気象台技術部気候・調査課調査係 |

以上

日本気象学会東北支部規則

| | |
|---------------|-------------------------------|
| 昭和 32. 5. 26 | 成立 |
| 昭和 32. 7. 5 | 第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加 |
| 昭和 40. 11. 18 | 第 8 条を改正 |
| 昭和 56. 10. 12 | 第 2 条を改正 |
| 昭和 60. 3. 19 | 第 9 条を改正 |
| 平成 2. 6. 21 | 第 8 条を改正 |
| 平成 6. 2. 28 | 第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正 |
| 平成 9. 6. 3 | 第 2 条を改正 |
| 平成 22. 6. 11 | 第 8 条を改正 |

- 第 1 条 本支部は社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内（技術部気候・調査課）に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（2～3 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
（1）事業計画および収支決算
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

| | |
|--------------|-------------------|
| 昭和33. 7. 5 | 成立 |
| 昭和40. 11. 18 | 1項を改正 |
| 昭和41. 3. 15 | 7項を改正 |
| 昭和60. 3. 19 | 12、13、14の各項を改正 |
| 平成6. 2. 28 | 1、8、9、12、13の各項を改正 |
| 平成22. 6. 11 | 1項を改正 |

役員選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より8～11名選出する。このうち在仙理事5～8名地方理事3名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より1名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の20日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の30日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第2項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の10分の1に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのものと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第9項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第9項または第12項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

以上